



横田小だより



平成27年6月30日発行
高岡市立横田小学校

141歳の創校記念式

校長 吉江ひとみ

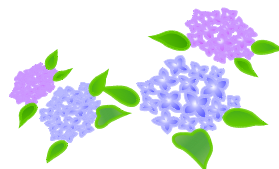
6月13日は横田小学校の141歳の誕生日でした。昨年は創校140周年ということで、大勢の来賓の方々や保護者の皆様にご臨席いただいて式典を行いました。今年は教職員と児童だけでお祝いをしました。

学校に残る歴史を伝えるものについて、パワーポイントを使って、時折クイズを入れながら話したのですが、子供たちは集中して聞いてくれました。学校の中には、卒業生や地域の方など多くの人の思いが込められたものがたくさんあること、それは形があるものだけではないことを伝えました。そして、自分もいつか横田小学校の卒業生となるので、思い出を大切にしてほしいと話を結びました。

形はないけれど大切なものの一つとして校歌があります。横田小学校の児童と卒業生だけの大切な歌です。みんなで心を込めて歌い、式を終えました。

その後、各教室で、「愛校心」に関連した学習を、学年に応じて行いました。

これからも「研精の心」「しっ子魂」を大事にして、子供たちを育てていきたいと思います。



学習意欲は心の安定から

担任をしていたときに、「うちの子は、勉強への意欲がなくて困ります」といった保護者からの言葉をよく聞きました。学習意欲を高めるにはどうしたらよいのでしょうか。答えはいくつもありそうで、なかなか難しいですね。

一つ参考になる記事を紹介します。国立教育政策研究所が数年前に行った調査によると、「やる気になるのはどんなときか」という問いに対して、小・中学生、高校生ともに「授業がよく分かるとき」「授業がおもしろいとき」「将来就きたい職業に関心をもったとき」などが上位にあげられたそうです。一方、「やる気がなくなるのはどんなときか」という問いに対しては、「授業がつまらないとき」「授業がよく分からないとき」と並んで、「家族の仲が悪かったりして、いやなとき」「友達や兄弟と比べられたとき」という回答が小・中学生、高校生ともに上位を占めました。家族が仲よく楽しく過ごしているときは小学生で九割近く、高校生でも五割以上が「やる気が出る」と回答しているそうです。

このことから、子供たちは「心の安定」を求めているのではないかと考えます。子供にとって家庭は生活の基盤であり、家族は心のよりどころだからです。

このことは家庭だけではなく、学校・学級にも言えることでしょう。落ち着いた学校、信頼関係のある学級では学習意欲は高まります。本校でも、どの子も安心して過ごせる学校・学級づくりに努めています。そして、「分かる授業」「楽しい授業」を通して、学習意欲の向上を図っていきます。